

浜松市西区の浜松大平台高の3年生が7日、マーケティングの授業の一環で、地元企業に商品・サービスのこだわりや仕事への思いを取材した成果の発表会を同校で開いた。

## 「目標持ち働く大切さ学んだ」

生徒11人が4グループに分かれ、市内の美容室、自動車販売店、学習塾などの事業所を取材した。発表会ではスライドショーを使い、接客の工夫や経営戦略を紹介した。

西区の菓子店「治一郎大平台本店」を取材したグループは、看板商品のバウムクーヘンの味を定期的に変えるという、挑戦する姿勢が印象に残ったと発表した。卒業後は製造業に就職予定の平英司さん(18)は「理念や目標を持って働く大切さを学んだ」と話した。

生徒のコミュニケーション能力を高めると同時に、進路選択の参考にしたいと、進路選択の参

考にしておらうと、(西区)、不動産会社LPガス販売のエネジのマスター(西区)が協力した。

## 浜松企業の工夫、戦略紹介

# 仕事のこだわり 大平台高生取材

地元企業への取材成果を発表する生徒  
＝浜松市西区の浜松大平台高

